

施設管理の実施に関する計画の変更の
変更前後表

施設管理の実施に関する計画の変更（本文）

変更前	変更後	変更理由
<p style="text-align: center;">目 次</p> <p>1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間・・・1</p> <p>2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期・・・1</p> <p>3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期・・・3</p> <p>4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置・・・3</p> <p>別紙：点検計画（第18保安サイクル） 別図：定期事業者検査時の安全管理の計画 別表：長期施設管理方針実施状況総括表</p>	<p style="text-align: center;">目 次</p> <p>1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間・・・1</p> <p>2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期・・・1</p> <p>3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期・・・3</p> <p>4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置・・・3</p> <p>別紙：点検計画（第19保安サイクル） 別図：定期事業者検査時の安全管理の計画 別表：長期施設管理方針実施状況総括表</p>	<p>保安規定改正（2022年8月24日）に伴い、追加</p>

施設管理の実施に関する計画の変更（本文）

変更前	変更後	変更理由
<p>3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期</p> <p>(1) 点検計画</p> <p>定期事業者検査中及びブランチ運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「大飯発電所 保修業務所則（平成15大原保所則 第1号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「大飯発電所 土木建築業務所則（平成19大原土所則 第1号）」に従い策定した。</p> <p>点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。</p> <p>附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」等に規定している。</p> <p>点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保全活動管理指標の監視結果 ・ 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績 ・ トラブルなど運転経験 ・ 安全性向上評価 ・ 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ ・ リスク情報、科学的知見 <p>4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置</p> <p>定期事業者検査に伴う停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。</p>	<p>e. 2次系配管取替工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 工事概要 減肉対策として、2次系配管を耐食性に優れた材料へ取替えを実施する。 ○ 予定時期 第19回定期事業者検査期間中 <p>f. 1次冷却材ポンプモータ予備機設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 工事概要 1次冷却材ポンプモータのローテーション運用のため、予備機を設置する。 ○ 予定時期 第19回定期事業者検査期間中 <p>3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期</p> <p>(1) 点検計画</p> <p>定期事業者検査中及びブランチ運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「大飯発電所 保修業務所則（平成15大原保所則 第1号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「大飯発電所 土木建築業務所則（平成19大原土所則 第1号）」に従い策定した。</p> <p>点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。</p> <p>附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」等に規定している。</p> <p>点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保全活動管理指標の監視結果 ・ 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績 ・ トラブルなど運転経験 ・ 安全性向上評価 ・ 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ ・ リスク情報、科学的知見 <p>4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置</p> <p>定期事業者検査に伴う停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。</p> <p>※特定重大事故等対処施設に関する事項については添付書類七にて記載する。</p>	<p>4号機特定重大事故等対処施設供用開始（2022年8月10日）に伴い追加</p>

施設管理の実施に関する計画の変更（別紙 点検計画）

変更前

点検計画 目次

ページ	機器又は系統名	ページ
1/46	蒸気タービン	37/46
	[炉心]	
	[原子炉容器]	
	[副連環装置及び非常副連環装置並びに副連環装置で制御される主要弁]	
1/46	[燃料取扱設備]	
	[復水器]	
	[使用済燃料貯蔵設備]	
	[蒸気タービンに付属する熱交換器]	
	[蒸気タービンに付属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
	[燃料取扱用排水設備]	
4/46	原子炉冷却系設備	
	[一次冷却材の循環設備]	
	[主蒸気・主給水設備]	42/46
	[非常用発電設備]	
	[その他の冷却設備]	
	[非常用炉心冷却設備]	
	[化学体積制御設備]	
	[原子炉補機冷却設備]	
	[原子炉補機冷却排水設備]	
	[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	46/46
	[蒸気タービンに付属する管等]	46/46
	[その他設備]	46/46
19/46	計測制御系設備	
	[制御炉打]	
	[制御棒駆動装置]	
	[はまう酸注入機能を有する設備]	
	[工学的安全施設等の作動信号]	
	[制御用空気設備]	
	[その他設備]	
23/46	放射線管理設備	
	[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
24/46	放射線管理施設	
	[放射線管理用語解説書]	
	[換気設備]	
30/46	原子炉格納炉設備	
	[原子炉格納容器]	
	[圧力低下設備その他の安全設備]	
36/46	原子炉設備	
	[その他設備]	
36/46	原子炉設備・タービン設備	
	[その他設備]	

- 別表-1：クラス1機器使用期間中検査10年計画
- 別表-2：クラス2機器使用期間中検査10年計画
- 別表-3：クラス3機器使用期間中検査10年計画
- 別表-4：クラス1機器N1基金金使用期間特別検査10年計画
- 別表-5：クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画
- 別表-6：原子炉格納容器使用期間中検査10年計画
- 別表-7：重大事故等クラス2機器使用期間中検査10年計画
- 別表-8：重大事故等クラス3機器使用期間中検査10年計画
- 別表-9：クラス1配管特別検査10年計画

① 別表-7：重大事故等クラス2機器使用期間中検査10年計画
 ② 放射線管理施設

変更後

点検計画 目次

ページ	機器又は系統名	ページ
1/46	蒸気タービン	37/46
	[炉心]	
	[原子炉容器]	
	[副連環装置及び非常副連環装置並びに副連環装置で制御される主要弁]	
1/46	[燃料取扱設備]	
	[復水器]	
	[使用済燃料貯蔵設備]	
	[蒸気タービンに付属する熱交換器]	
	[蒸気タービンに付属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
	[燃料取扱用排水設備]	
4/46	原子炉冷却系設備	
	[一次冷却材の循環設備]	
	[主蒸気・主給水設備]	
	[非常用発電設備]	
	[その他の冷却設備]	
	[非常用炉心冷却設備]	
	[化学体積制御設備]	
	[原子炉補機冷却設備]	
	[原子炉補機冷却排水設備]	
	[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	46/46
	[蒸気タービンに付属する管等]	46/46
	[その他設備]	46/46
19/46	計測制御系設備	
	[制御炉打]	
	[制御棒駆動装置]	
	[はまう酸注入機能を有する設備]	
	[工学的安全施設等の作動信号]	
	[制御用空気設備]	
	[その他設備]	
23/46	放射線管理設備	
	[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
24/46	放射線管理施設	
	[放射線管理用語解説書]	
	[換気設備]	
30/46	原子炉格納炉設備	
	[原子炉格納容器]	
	[圧力低下設備その他の安全設備]	
36/46	原子炉設備	
	[その他設備]	
37/46	原子炉設備・タービン設備	
	[その他設備]	

- 別表-1：クラス1機器使用期間中検査10年計画
- 別表-2：クラス2機器使用期間中検査10年計画
- 別表-3：クラス3機器使用期間中検査10年計画
- 別表-4：クラス1機器N1基金金使用期間特別検査10年計画
- 別表-5：クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画
- 別表-6：原子炉格納容器使用期間中検査10年計画
- 別表-7：重大事故等クラス1機器使用期間中検査10年計画
- 別表-8：重大事故等クラス2機器使用期間中検査10年計画
- 別表-9：重大事故等クラス3機器使用期間中検査10年計画
- 別表-10：クラス1配管特別検査3年計画

① 別表-7：重大事故等クラス1機器使用期間中検査10年計画
 ② 放射線管理施設

変更理由

- ① 特定重大事故等対処施設の使用開始を受けた検査の追加。
- ② 4号機特定重大事故等対処施設使用開始（2022年8月10日）に伴い追加

変更理由

① 記載の適正化

② 保全指針の改正に伴う
保全頻度の変更

③ 保全の有効性評価結果
に伴う保全頻度の変更。
(備考欄に関連事項の追記)

(2/46)

変更後

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する 設備診断技術)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	燃料取扱取扱工具	1台	1. 外観点検	低	1F	○	18回	燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施
	燃料位置ラック	1台	1. 外観点検	高	1F	○	18回	燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	18回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵設備]	使用済燃料ピット温度	3台	1. 特性試験	高	13M~20M	○	18回	計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ピット水位	1台	1. 特性試験	高	13M	○	18回	計測制御系監視機能検査	
	可搬式使用済燃料ピット水位	3台	1. 特性試験	高	13M~52M	○	18回	計測制御系監視機能検査	15回施設定検時に設置 有効性評価 実施の記録
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2台	1. 特性試験	高	13M	○	18回	プラント状態監視設備機能検査	15回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2台	1. 特性試験	高	13M	○	18回	プラント状態監視設備機能検査	15回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置	2台 1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	18回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	15回施設定検時に設置
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	使用済燃料ピット浄化冷却設備		1. 機能・性能試験 (ポンプ・電動機等含む)	高	1F	○	18回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	
	A使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	○	14回		(振動診断: 6M) 先行実施
			2. 分解点検 (電動機)		78M	○	15回		
			3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	18回		
	B使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	○	18回		(振動診断: 6M) 先行実施
			2. 分解点検 (電動機)		78M	○	18回		
			3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	17回		
	送水車	2台	1. 機能・性能試験	高	15M	○	18回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 15回施設定検時に設置
			2. 外観点検	高	15M	○	18回		
	A使用済燃料ピットフィルタ		1. 開放点検	高	130M	○	16回		先行実施
	B使用済燃料ピットフィルタ		1. 開放点検	高	130M	○	16回		先行実施
	A使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検	高	195M	○	9回	1次系熱交換器検査	先行実施
			2. 非破壊試験	高	195M	○	9回	1次系熱交換器検査	
			3. 漏えい試験	高	195M	○	9回		
	B使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検	高	195M	○	8回	1次系熱交換器検査	先行実施
		2. 非破壊試験	高	195M	○	8回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験	高	195M	○	8回			
C使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検	高	130M	○	17回		平成13年度に設置 先行実施	
		2. 漏えい試験	高	130M	○	17回			

(2/46)

変更前

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する 設備診断技術)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	燃料取扱取扱工具	1台	1. 外観点検	低	1F	○	17回	燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	先行実施
	燃料位置ラック	1台	1. 外観点検	高	1F	○	17回	燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	17回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵設備]	使用済燃料ピット温度	3台	1. 特性試験	高	13M	○	17回	計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ピット水位	1台	1. 特性試験	高	13M	○	17回	計測制御系監視機能検査	
	可搬式使用済燃料ピット水位	3台	1. 特性試験	高	13M	○	17回	計測制御系監視機能検査	15回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2台	1. 特性試験	高	13M	○	17回	プラント状態監視設備機能検査	15回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2台	1. 特性試験	高	13M	○	17回	プラント状態監視設備機能検査	15回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置	2台 1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	17回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	15回施設定検時に設置
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	使用済燃料ピット浄化冷却設備		1. 機能・性能試験 (ポンプ・電動機等含む)	高	1F	○	17回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	
	A使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	○	14回		(振動診断: 6M) 先行実施
			2. 分解点検 (電動機)		78M	○	15回		
			3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	16回		
	B使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	○	14回		(振動診断: 6M) 先行実施
			2. 分解点検 (電動機)		78M	○	14回		
			3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	17回		
	送水車	2台	1. 機能・性能試験	高	15M	○	17回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 プラント運転中又は定期事業者検査停止中
			2. 外観点検	高	15M	○	17回		
	A使用済燃料ピットフィルタ		1. 開放点検	高	130M	○	16回		先行実施
	B使用済燃料ピットフィルタ		1. 開放点検	高	130M	○	16回		先行実施
	A使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検	高	195M	○	9回	1次系熱交換器検査	先行実施
			2. 非破壊試験	高	195M	○	9回	1次系熱交換器検査	
			3. 漏えい試験	高	195M	○	9回		
	B使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検	高	195M	○	8回	1次系熱交換器検査	先行実施
		2. 非破壊試験	高	195M	○	8回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験	高	195M	○	8回			
C使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検	高	130M	○	17回		平成13年度に設置 先行実施	
		2. 漏えい試験	高	130M	○	17回			

変更理由

記載の適正化
(先行で実施するため、記載
を追加)

(3/46)

変更後

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】 その他の弁	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】 その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グラウンドバックシン取替)	高・低	B	—	18回	1次系弁検査	一部先行実施
				104M~130M	—	18回		
				130M	—	18回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】	A燃料取替用水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	B*	○	15回	1次系ポンプ機能検査	B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (診断診断:6M)
				130M	—	12回		
				52M	○	15回		
B燃料取替用水ポンプ・電動機	B燃料取替用水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	B*	○	18回	1次系ポンプ機能検査	B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (診断診断:6M)
				130M	—	18回		
				52M	○	15回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他の弁	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【燃料取替用水設備】 その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グラウンドバックシン取替)	高・低	B	○	18回	1次系弁検査	一部先行実施
				130M	○	18回		
				130M	○	18回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他の機器	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【燃料取替用水設備】 その他の機器	1.分解点検他	高	130M	—	15回		

(3/46)

変更前

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】 その他の弁	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】 その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グラウンドバックシン取替)	高・低	B	—	17回	1次系弁検査	一部先行実施
				104M~130M	○	17回		
				130M	○	16回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】	A燃料取替用水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	B*	—	15回	1次系ポンプ機能検査	B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (診断診断:6M)
				130M	—	12回		
				52M	—	15回		
B燃料取替用水ポンプ・電動機	B燃料取替用水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	B*	○	15回	1次系ポンプ機能検査	B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (診断診断:6M)
				130M	○	10回		
				52M	—	15回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他の弁	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【燃料取替用水設備】 その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グラウンドバックシン取替)	高・低	B	—	17回	1次系弁検査	一部先行実施
				130M	○	17回		
				130M	○	17回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他の機器	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【燃料取替用水設備】 その他の機器	1.分解点検他	高	130M	—	15回		

変更理由

記載の適正化
(他検査 (ISI 等) で確認可
能なため、削除。)

変更後

(4/46)

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	○	17回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1次側	1. 開放点検	高	13M	○	18回		
			2次側	1. 開放点検	高	13M	○	18回	
		2次側	2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	18回		
	3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)		高	26M	—	18回			
	マンホール		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	○	18回		
	B 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	—	18回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1次側	1. 開放点検	高	13M	○	18回		
			2次側	1. 開放点検	高	13M	○	18回	
		2次側	2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	18回		
	3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)		高	26M	—	18回			
	マンホール		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	○	18回		
	C 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	○	17回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1次側	1. 開放点検	高	13M	○	18回		
			2次側	1. 開放点検	高	13M	○	18回	
		2次側	2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	18回		
3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)	高		26M	—	18回				
マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)		高	13M	○	18回			
D 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	—	18回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
	1次側	1. 開放点検	高	13M	○	18回			
		2次側	1. 開放点検	高	13M	○	18回		
	2次側	2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	18回			
3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)		高	26M	—	18回				
マンホール		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	○	18回			

変更前

(4/46)

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	—	17回	蒸気発生器伝熱管体積検査
		1次側	1. 開放点検	高	13M	○	17回	
			2次側	1. 開放点検	高	13M	○	17回
		2次側	2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	17回	
	3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)		高	26M	○	—		
	マンホール		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	○	17回	
	B 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	○	16回	蒸気発生器伝熱管体積検査
		1次側	1. 開放点検	高	13M	○	17回	
			2次側	1. 開放点検	高	13M	○	17回
		2次側	2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	17回	
	3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)		高	26M	○	—		
	マンホール		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	○	17回	
	C 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	—	17回	蒸気発生器伝熱管体積検査
		1次側	1. 開放点検	高	13M	○	17回	
			2次側	1. 開放点検	高	13M	○	17回
		2次側	2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	17回	
3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)	高		26M	○	—			
マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)		高	13M	○	17回		
D 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	○	16回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
	1次側	1. 開放点検	高	13M	○	17回		
		2次側	1. 開放点検	高	13M	○	17回	
	2次側	2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	17回		
3. スケール回収 (稠密層厚さ計測、スケール摩耗試験)		高	26M	○	—			
マンホール		1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	○	17回		

変更理由

保安指針の改正に伴う保安
頻度の変更

(10/46)

変更後

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保安の重要度	保安方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 (() 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 【余熱除去設備】	低圧注入系主要弁	4V-RH-050A	1. 分解点検	高	130M	—	11回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-RH-050B	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-RH-050C	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-RH-050D	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-RH-051A	1. 分解点検	高	130M	○	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		4V-RH-051B	1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
A余熱除去冷却器		1. 開放点検	高	130M	—	16回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験	高	130M	—	16回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験	高	130M	—	16回			
B余熱除去冷却器		1. 開放点検	高	130M	—	18回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験	高	130M	—	18回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験	高	130M	—	18回			
原子炉冷却系統施設【余熱除去設備】 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	18回	1次系弁検査	一部BMあり	
		2. 分解点検	高	52M~130M	○	18回	1次系弁検査		
		3. 分解点検	低	104M~130M	—	16回			
		4. 簡易点検 (グラウンドパッキン取替)	高・低	65M~130M	○	18回			
原子炉冷却系統施設【余熱除去設備】 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	18回	1次系弁検査		
		2. 分解点検	高	52M~182M	○	18回			
		3. 簡易点検 (特性点検)	高	13M~182M	○	18回			
原子炉冷却系統施設【余熱除去設備】 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	18回			
		2. 分解点検他	低	65M~130M	○	18回			
その他AM(代替再循環) 機器	1式	1. 分解点検他	高	130M~182M	—	13回	1次系弁検査		

(10/46)

変更前

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保安の重要度	保安方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 (() 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 【余熱除去設備】	低圧注入系主要弁	4V-RH-050A	1. 分解点検	高	130M	—	11回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-RH-050B	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-RH-050C	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-RH-050D	1. 分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		4V-RH-051A	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		4V-RH-051B	1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
A余熱除去冷却器		1. 開放点検	高	130M	—	16回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験	高	130M	—	16回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験	高	130M	—	16回			
B余熱除去冷却器		1. 開放点検	高	130M	○	11回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験	高	130M	○	11回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験	高	130M	○	11回			
原子炉冷却系統施設【余熱除去設備】 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	17回	1次系弁検査	有効性評価 No.6の反映 一部BMあり 有効性評価 No.1の反映	
		2. 分解点検	高	50M~130M	○	17回	1次系弁検査		
		3. 分解点検	低	104M~130M	—	16回			
		4. 簡易点検 (グラウンドパッキン取替)	高・低	65M~130M	○	17回			
原子炉冷却系統施設【余熱除去設備】 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	17回	1次系弁検査		
		2. 分解点検	高	50M~182M	○	17回			
		3. 簡易点検 (特性点検)	高	13M~182M	○	17回			
原子炉冷却系統施設【余熱除去設備】 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	17回		有効性評価 No.13の反映	
		2. 分解点検他	低	65M~130M	○	17回			
その他AM(代替再循環) 機器	1式	1. 分解点検他	高	130M~182M	—	13回	1次系弁検査		

変更理由		変更後									
		(12/46)									
		① 保全指針の改正に伴う点検及び試験の項目の追加 ② 記載の適正化（頻度：10Y→130M）									
機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（（ ）内は適用する設備診断技術）			
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	恒設代替低圧注水系	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	18回	その他原子炉注水系機能検査 原子炉格納容器安全系機能検査	15回施設定検時に設置			
	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	1台	1.機能・性能試験 漏えい試験	高	1F	○	18回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	15回施設定検時に設置		
			2.分解点検 (ポンプ)		130M	—	—				
			3.分解点検 (電動機)		130M	—	—				
	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	2台	1.機能・性能試験	高	15M	○	18回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 15回施設定検時に設置		
			2.分解点検 (ポンプ)		130M	—	—				
			3.分解点検 (電動機)		130M	—	—				
	高圧注入系主要弁	4V-SI-082A 4V-SI-082B 4V-SI-082C 4V-SI-082D 4V-SI-072A 4V-SI-072B 4V-SI-072C 4V-SI-072D 4V-SI-079A 4V-SI-079B 4V-SI-079C 4V-SI-079D	1.分解点検	高	260M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
			1.分解点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
			1.分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
			1.分解点検	高	260M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
			1.分解点検	高	260M	—	7回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定		
			1.分解点検	高	260M	○	5回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定		
			1.分解点検	高	260M	○	6回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定		
1.分解点検			高	260M	—	5回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定			
1.分解点検			高	260M	○	6回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査				
1.分解点検			高	260M	○	6回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査				
		(12/46)									
機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考（（ ）内は適用する設備診断技術）			
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	恒設代替低圧注水系	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	17回	その他原子炉注水系機能検査 原子炉格納容器安全系機能検査	15回施設定検時に設置			
	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	1台	1.機能・性能試験 漏えい試験	高	1F	○	17回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	15回施設定検時に設置		
			2.分解点検 (ポンプ)		130M	—	—				
			3.分解点検 (電動機)		130M	—	—				
	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	2台	1.機能・性能試験	高	15M	○	17回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 15回施設定検時に設置		
			2.分解点検 (ポンプ)		130M	—	—				
			3.分解点検 (電動機)		130M	—	—				
	高圧注入系主要弁	4V-SI-082A 4V-SI-082B 4V-SI-082C 4V-SI-082D 4V-SI-072A 4V-SI-072B 4V-SI-072C 4V-SI-072D 4V-SI-079A 4V-SI-079B 4V-SI-079C 4V-SI-079D	1.分解点検	高	260M	○	—	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
			1.分解点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
			1.分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
			1.分解点検	高	260M	○	—	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
			1.分解点検	高	260M	—	7回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定		
			1.分解点検	高	260M	—	5回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定		
			1.分解点検	高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定		
1.分解点検			高	260M	—	5回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定			
1.分解点検			高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査				
1.分解点検			高	260M	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査				

変更前

変更理由

変更後

変更前

保安指針の改正に伴う頻度の変更

(17/46)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保安の重要度	保安方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却設備】	C原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B*	○	18回	1次系ポンプ機能検査	B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施(振動診断:6M)
		2.分解点検(ポンプ)		52M	—	16回		
		3.分解点検(電動機)		130M	—	18回		
		4.簡易点検(潤滑油入替)(ポンプ)		26M	—	18回		
		5.簡易点検(潤滑油入替)(電動機)		52M	—	18回		
D原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B*	○	18回	1次系ポンプ機能検査	B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施(振動診断:6M)	
			2.分解点検(ポンプ)	52M	—			18回
			3.分解点検(電動機)	130M	—			15回
			4.簡易点検(潤滑油入替)(ポンプ)	26M	—			18回
			5.簡易点検(潤滑油入替)(電動機)	52M	—			18回
格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	2台	1.機能・性能試験	高	1F	○	18回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	15回施設定検時に設置
原子炉補機冷却水サーージタンク		1.開放点検	高	130M	—	18回		
原子炉補機冷却水サーージタンク真空逃がし弁		1.開放点検	高	130M	○	18回	1次系真空破壊弁検査	
A原子炉補機冷却水冷却器		1.開放点検	高	13M	○	18回	1次系熱交換器検査	
		2.非破壊試験		13M	○	18回		
		3.漏えい試験		13M	○	18回		
B原子炉補機冷却水冷却器		1.開放点検	高	B	○	18回	1次系熱交換器検査	
		2.非破壊試験		B	○	18回		
		3.漏えい試験		B	○	18回		
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】 その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	18回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
		2.分解点検		130M	○	18回		
		3.簡易点検(グラウンドパッキン取替)		130M~195M	○	18回		
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	18回	1次系弁検査	
		2.分解点検		65M~182M	○	18回		
		3.簡易点検(特時点検)		13M~182M	○	18回		
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】 その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M~130M	○	18回		
		2.分解点検他		低	13M~65M	○		
その他AM(代替補機冷却、格納容器自然対流冷却)機器	1式	1.分解点検他	高	13M~130M	○	18回		

(17/46)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保安の重要度	保安方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却設備】	C原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B*	○	16回	1次系ポンプ機能検査	B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施(振動診断:6M) 有効性評価 №15の反映
		2.分解点検(ポンプ)		52M	—	16回		
		3.分解点検(電動機)		130M	○	13回		
		4.簡易点検(潤滑油入替)(ポンプ)		26M	○	16回		
		5.簡易点検(潤滑油入替)(電動機)		52M	○	16回		
D原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B*	○	15回	1次系ポンプ機能検査	B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施(振動診断:6M) 有効性評価 №15の反映	
			2.分解点検(ポンプ)	52M	○			15回
			3.分解点検(電動機)	130M	—			15回
			4.簡易点検(潤滑油入替)(ポンプ)	26M	○			17回
			5.簡易点検(潤滑油入替)(電動機)	52M	○			16回
格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	2台	1.機能・性能試験	高	1F	○	17回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	15回施設定検時に設置
原子炉補機冷却水サーージタンク		1.開放点検	高	130M	○	16回		
原子炉補機冷却水サーージタンク真空逃がし弁		1.開放点検	高	130M	○	16回	1次系真空破壊弁検査	先行実施
A原子炉補機冷却水冷却器		1.開放点検	高	13M	○	17回	1次系熱交換器検査	
		2.非破壊試験		13M	○	17回		
		3.漏えい試験		13M	○	17回		
B原子炉補機冷却水冷却器		1.開放点検	高	B	○	17回	1次系熱交換器検査	
		2.非破壊試験		B	○	16回		
		3.漏えい試験		B	○	17回		
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】 その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	17回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	一部先行実施 有効性評価 №7の反映
		2.分解点検		130M	○	17回		
		3.簡易点検(グラウンドパッキン取替)		130M~195M	○	17回		
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	17回	1次系弁検査	
		2.分解点検		65M~182M	○	17回		
		3.簡易点検(特時点検)		13M~182M	○	17回		
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】 その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M~130M	○	17回		
		2.分解点検他		低	13M~65M	○		
その他AM(代替補機冷却、格納容器自然対流冷却)機器	1式	1.分解点検他	高	13M~130M	○	17回		

施設管理の実施に関する計画の変更(別紙点検計画)

変更理由

変更後

変更前

- ① 保全の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更。
(備考欄に関連事項の追記)
- ② 保全指針改訂に伴う頻度の変更

(18/46)

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する設備診断技術）	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	A海水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	18回	原子炉補機冷却系統機能検査		
		1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	B*	○	16回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2.分解点検		52M	○	16回	2次系ポンプ分解検査		
		3.分解点検 (電動機)		104M	—	16回			
	B海水ポンプ・電動機	4.簡易点検 (グラントパッキン取替) (ポンプ)		13M	○	18回			
		1.機能・性能試験	高	B*	—	18回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2.分解点検 (ポンプ)		52M	—	18回	2次系ポンプ分解検査		
		3.分解点検 (電動機)		104M	—	18回			
	C海水ポンプ・電動機	4.簡易点検 (グラントパッキン取替) (ポンプ)		13M	○	18回			
		1.機能・性能試験	高	B*	—	17回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2.分解点検 (ポンプ)		52M	—	17回	2次系ポンプ分解検査		
		3.分解点検 (電動機)		104M	—	15回			
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	18回		
			2.分解点検		13M~65M	○	18回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	—	16回	2次系弁検査	
2.分解点検				78M	—	16回			
原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁	1式	3.簡易点検 (特性点検)	①	13M	○	18回		有効性評価 ①の反映	
		1.分解点検他	高	13M~104M	○	18回		一部BMあり	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置〕	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	伝送器 2個	低	13M~20M	○	18回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
		設定器 5個	低	2F	—	18回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置〕	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	検出器 2個	高	1F	○	18回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	15回施設改修時に改造	

(18/46)

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する設備診断技術）	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	A海水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	17回	原子炉補機冷却系統機能検査		
		1.機能・性能試験 (ポンプ)	高	B*	—	16回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2.分解点検		52M	—	16回	2次系ポンプ分解検査		
		3.分解点検 (電動機)		104M	—	16回			
	B海水ポンプ・電動機	4.簡易点検 (グラントパッキン取替) (ポンプ)		13M	○	17回			
		1.機能・性能試験	高	B*	○	15回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2.分解点検 (ポンプ)		52M	○	15回	2次系ポンプ分解検査		
		3.分解点検 (電動機)		104M	○	15回			
	C海水ポンプ・電動機	4.簡易点検 (グラントパッキン取替) (ポンプ)		13M	○	17回			
		1.機能・性能試験	高	B*	—	17回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2.分解点検 (ポンプ)		52M	—	17回	2次系ポンプ分解検査		
		3.分解点検 (電動機)		104M	—	15回			
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	17回		
			2.分解点検		13M~65M	○	17回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高	B	—	16回	2次系弁検査	
2.分解点検				78M	—	16回			
原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁	1式	3.簡易点検 (特性点検)	①	13M~52M	○	17回			
		1.分解点検他	高	13M~104M	○	17回		一部BMあり	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置〕	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	伝送器 2個	低	13M	○	17回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
		設定器 5個	低	1F	—	17回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置〕	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	検出器 2個	高	1F	○	17回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	15回施設改修時に改造	

変更理由

保全の有効性評価結果に伴う保全頻度の変更。
(備考欄に関連事項の追記)

(19/46)

変更後

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (() 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	補助給水系	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機、原動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	18回	補助給水系機能検査	
	A電動補助給水ポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	18回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) 有効性評価 No.3の反映
		2.分解点検 (電動機)	高	130M	—	15回		
		3.簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)	高	26M	—	18回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)	高	26M	○	17回		
	E電動補助給水ポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ)	高	130M	○	15回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) 有効性評価 No.3の反映
		2.分解点検 (電動機)	高	130M	—	18回		
		3.簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)	高	26M	○	17回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)	高	26M	—	18回		
	タービン動補助給水ポンプ・タービン	1.機能・性能試験 (タービン)	高	E	—	18回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M)
		2.分解点検	高	52M	—	18回	補助給水系ポンプ分解検査	
		3.簡易点検 (ストレーナ清掃)	高	26M	—	18回		
4復水ピット	1.外観点検	高	1F	○	18回			
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁	1.機能・性能試験	高	E	○	18回	2次系弁検査	
		2.分解点検	高・低	78M~260M	○	18回	2次系弁検査	
		3.簡易点検 (グラッドパッキン取替)	高	130M	○	18回		
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁駆動部	1.機能・性能試験	高	E	○	18回	2次系弁検査	
		2.分解点検	高	78M~182M	○	18回		
3.簡易点検 (特性点検)	高	13M~182M	○	18回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他機器	1.分解点検他	高	13M~130M	○	18回			
計測制御系統施設 [制御材]	制御棒クラスタ	※ 1式	1.外観点検	高	1F	○	18回	制御棒クラスタ検査 ※: 炉心設計による
	バーナブルボイズン	※ 1式	1.外観点検	高	1F	○	18回	制御棒クラスタ検査 ※: 炉心設計による
	2次中性子線	※ 1式	1.外観点検	高	1F	○	18回	制御棒クラスタ検査 ※: 炉心設計による
	シンプルプラグアセンブリ	※ 1式	1.外観点検	高	1F	○	18回	制御棒クラスタ検査 ※: 炉心設計による

(19/46)

変更前

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (() 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	補助給水系	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機、原動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	17回	補助給水系機能検査	
	A電動補助給水ポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	15回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) 有効性評価 No.17の反映
		2.分解点検 (電動機)	高	130M	—	15回		
		3.簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)	高	26M	○	17回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)	高	26M	—	17回		
	B電動補助給水ポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	15回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M)
		2.分解点検 (電動機)	高	130M	○	14回		有効性評価 No.17の反映
		3.簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)	高	26M	—	17回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)	高	26M	○	16回		
	タービン動補助給水ポンプ・タービン	1.機能・性能試験 (タービン)	高	B	○	15回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M)
		2.分解点検	高	52M	○	15回	補助給水系ポンプ分解検査	
		3.簡易点検 (ストレーナ清掃)	高	26M	○	17回		
4復水ピット	1.外観点検	高	1F	○	17回			
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁	1.機能・性能試験	高	B	○	17回	2次系弁検査	
		2.分解点検	高・低	78M~260M	○	17回	2次系弁検査	
		3.簡易点検 (グラッドパッキン取替)	高	130M	○	17回		
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁駆動部	1.機能・性能試験	高	B	○	17回	2次系弁検査	
		2.分解点検	高	78M~182M	○	17回		
3.簡易点検 (特性点検)	高	3M~182M	○	17回				
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他機器	1.分解点検他	高	3M~130M	○	17回			
計測制御系統施設 [制御材]	制御棒クラスタ	※ 1式	1.外観点検	高	1F	○	17回	制御棒クラスタ検査 ※: 炉心設計による
	バーナブルボイズン	※ 1式	1.外観点検	高	1F	○	17回	制御棒クラスタ検査 ※: 炉心設計による
	2次中性子線	※ 1式	1.外観点検	高	1F	○	17回	制御棒クラスタ検査 ※: 炉心設計による
	シンプルプラグアセンブリ	※ 1式	1.外観点検	高	1F	○	17回	制御棒クラスタ検査 ※: 炉心設計による